

社会福祉法人 さくら

2023年度（自：2023年4月1日 至：2024年3月31日）

事業報告書

I. 事業の概況

1. はじめに
2. 当法人の概況

II. 理念、基本方針など

III. 各事業部門の状況

1. さくらデイサービスセンター
2. ララさくらデイサービスセンター
3. ショートステイさくら
4. ヘルパーステーションさくら
5. レジデンスケア ララさくら

IV. 理事会・評議員会

1. 理事会
2. 評議員会

I. 事業の概況

1. はじめに

3年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の蔓延がようやく一定程度収束し、政府は新型コロナウイルスの感染法上の位置づけを2023年5月8日から5類へ移行しました。インフルエンザと同様の措置がとられ、世間は日常の生活様式に戻りつつあります。

ただ、高齢者施設においては新型コロナをはじめとする感染症対策は重要な課題であり、日常の生活維持と予防体制の両立に取り組んでまいります。サービス付き高齢者向け住宅レジデンスケアアララさくらにおいては、家族らとの面会制限はほぼ解除し、入居者の外出も可能とする一方で日々の体調管理によりきめ細かく対応しています。

2023年度は、医療介護業界でも人材不足が一段と加速し、大手事業者を中心にM&Aによる再編の流れも進んでいます。介護報酬の抑制による収入の伸び悩みに加え、人件費の上昇、光熱費や食材費、その他消耗品など物価高騰の影響などもあり、事業者の廃業や倒産件数は過去最多を更新しています。

3年に一度見直される介護報酬については2024年4月から一部を除いて実施されました。改定率は全体で1.59%のプラス改定となりましたが、6月施行の処遇改善加算(0.98%)を除くと実質0.61%のプラスにとどまりました。とりわけ在宅利用者の支援にかかせず、最も人手が不足している訪問介護はマイナス改定とされ、サービス撤退を決める事業者が相次いでいます。

2. 社会福祉法人さくらの事業概況

2023年度は、法人設立以来17年間にわたって理事長職を務めてきた井辺浩行・医療法人桜泉会さくらクリニック前院長が6月に理事長を退任しました。後任として江南護業務執行理事が理事長に就き、新たな体制の下、スタッフ一団力を合わせ法人の一層の発展に向け各事業に意欲的に取り組んでいます。

それぞれの部門では、介護の質向上に向けさまざまな内部研修等を定期的にも実施しました。コロナ感染症も落ち着いたことから、外部講師を招いた研修も再開しました。3月には接遇マナー研修を開催、改めて接遇やマナーの大切さを学習する機会となりました。

また、介護サービスの質向上、介護職員の負担軽減に向け、DX化を積極的に推進しました。3月には、定評のあるパラマウントベッド製の見守りセンサー、眠りスキャンをサービス付き高齢者向け住宅レジデンスケアアララさくらとショートステイの各居室に配備しました。これにより入居者・利用者の就寝中の状況をリアルタイムで把握し、離床や体調の異変なども素早く感知することができます。夜間の定期巡回も基本的に廃止し、睡眠を妨げることなく見守りを実施できています。

さくらデイサービスセンターの開設以来20年近くたち、設備更新の必要性も増えてきました。故障気味だったデイルームのエアコンを更新したほか、照明器具を蛍光灯からLED

照明に切り替えました。1,000万円近い投資となりましたが、最新機器への更新により省エネにもつながると期待されます。

法人全体のサービス活動収入は3億1,521円と前年度比3.2%増、本業の利益であるサービス活動増減差額は前年度比36.0%減の1,480万円（前期は2,314万円）でした。借入利息などを引いた経常増減差額は同28.6%減の2,336万円（同3,273万円）と増収減益決算となりました。

2023年度の離職率は法人全体で8.5%でした。このうち常勤職員の離職率は10.7%、非常勤職員は6.5%。介護職に限ると8.1%でした。近年は、全国の平均離職率約14%を下回る水準で推移しています。

社会福祉法人さくらでは、地域のあらゆる人々にとって“最後の拠りどころ”となる場を提供すべく、新たに「ラストリゾート構想」を掲げました。地域の「い・しょく・じゅう＋アルファ」を支える計画を策定する予定です。

離職率の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
介護職のみ	13.3%	10.8%	8.1%
全常勤職員	7.1%	10.3%	10.7%
全非常勤職員	20.0%	12.1%	6.5%

II. 理念、基本方針など

【理念】

<さくらグループ>

地域の窓口となり、総合的な医療・福祉のシステム作り、今まで暮らしていた地域で、安心・安全に暮らし続けることのできる社会づくりに貢献致します。

<社会福祉法人さくら>

地域の人々が住み慣れた場所で快適な生活が営めるよう「生活の質」「介護の質」を基本とし、地域で最も信頼され、喜ばれる介護サービスを提供し、ともに生き、支え合う地域社会の構築を目指します。

【基本方針】

<さくらデイサービスセンター>

健やかなあなたとご家族の笑顔が溢れる暮らしのために

<ショートステイさくら>

「第二の我が家」をモットーに利用者及び家族の視点に立ち、安心して安全な環境とサービスの提供に努めます。

<ララさくらデイサービスセンター>

個人の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。

<レジデンスケアララさくら>

医療・介護の充実した終の棲家となれるように努めます。

<ヘルパーステーションさくら>

住み慣れた地域・我が家で、自分らしく暮らして頂く為に、出来ないところ・困っているところを支援させていただきます。

【重点項目】

(1) 利用者及び家族へのサービス提供の充実について

- ① 人権の尊重や個人の尊厳に配慮し、利用者及び家族に信頼されるサービスの提供に努めます。
- ② リスクマネジメント体制の構築を図るため、事故・苦情の集約・分析を行い、予防に努めるとともにケアの水準の底上げ・平準化に努めます。
- ③ 人材育成・研修システムの充実に努めます。新入社員の教育・育成、中堅・管理者の研修を強化するとともに、IT化などにより、業務効率化・改善を進めます。処遇のアップをはじめ働きやすい職場づくりに努め、離職率の低下につなげます。

(2) 地域における福祉の拠点としての役割と使命について

- ① 地域ボランティアや学校、学生の受け入れを積極的に行い、高齢者福祉に対する啓発活動を行います。
- ② 地域に開かれた福祉施設として地域と交流を深める機会を設けるとともに、近隣の医療福祉関係者との連携強化に一層取り組みます。

(3) 安定した運営・経営の実現について

- ① 今後の社会福祉事業が直面する問題、また地域が抱える問題や課題を把握し、中長期的に安定した運営を目指します。
- ② 適正な予算管理を行い、将来の施設の修繕や拡充に向けた積み立てなど計画的な資金管理を行います。
- ③ スタッフの処遇改善やキャリアパス制度等を充実させ、利用者・家族、職員、地域の「三方よし」の経営を目指します。

Ⅲ. 各事業部門の状況

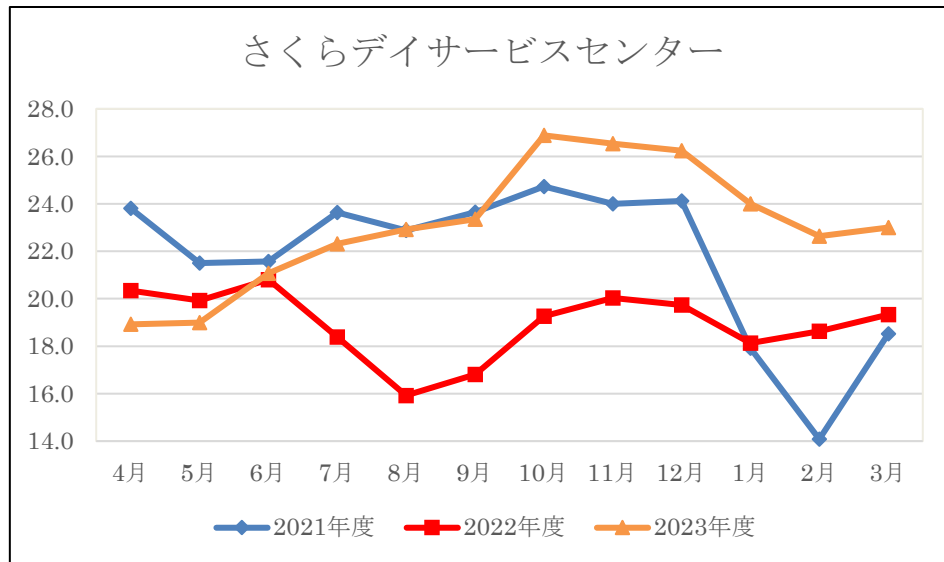
1. さくらデイサービスセンター

(1) 事業の概要

2023年度の利用者数は1日平均23.1人と、前年度に比べ4.2人増加しました。延べ利用回数は月平均584回と19.7%増えました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行などに伴い、カラオケやさまざまなレクリエーションをより積極的に実施しました。施設前の庭園でガーデニングを楽しんだり、クリスマスや節分など季節ごとのイベント、外出の機会なども多く設け、自立支援に向けたサポートに取り組みました。

一方で新型コロナ感染症の影響は依然として続き、レジデンスケアララさくらでのコロナ感染症拡大を受けてデイ職員を応援派遣したため、9月28日から3日間、デイを休業しました。



(2) 職員の状況 (3/31 現在)

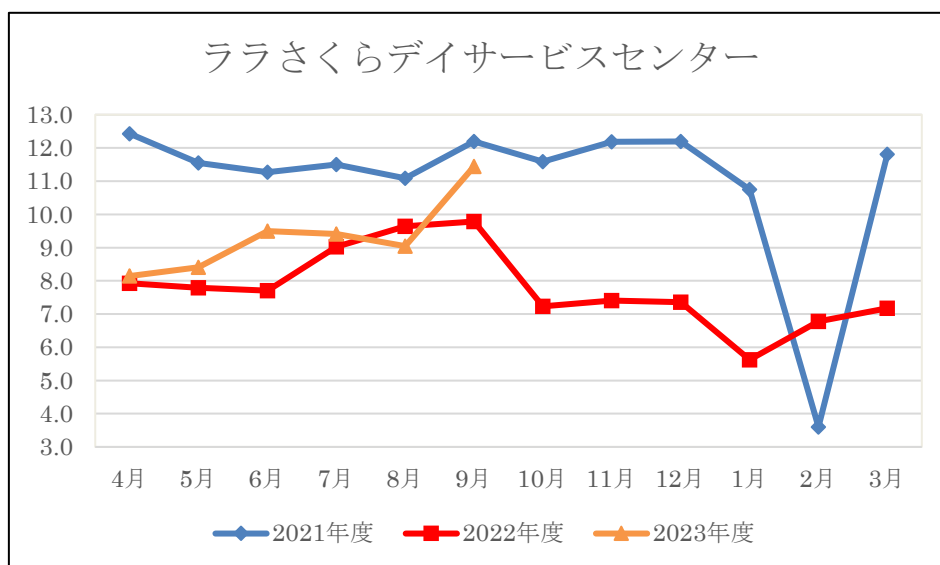
施設長	生活相談員	介護職員	作業療法士	看護師
1	1	8	1	1
栄養士	調理職			
1 (兼務)	3			

2. ララさくらデイサービスセンター

事業の概要

ララさくらデイサービスセンターにつきましては、スタッフ不足により、2023年9月末よりいったん休止としました。コロナウイルス感染症拡大後は、外部の利用を中止しており、利用者は全員併設のレジデンスケアララさくらの入居者でした。このため、休止後は多くの

方が、隣接するさくらデイサービスセンターを利用されました。介護スタッフの募集を継続して行いましたが、充足できずに 2024 年 1 月末をもって正式に廃止しました。



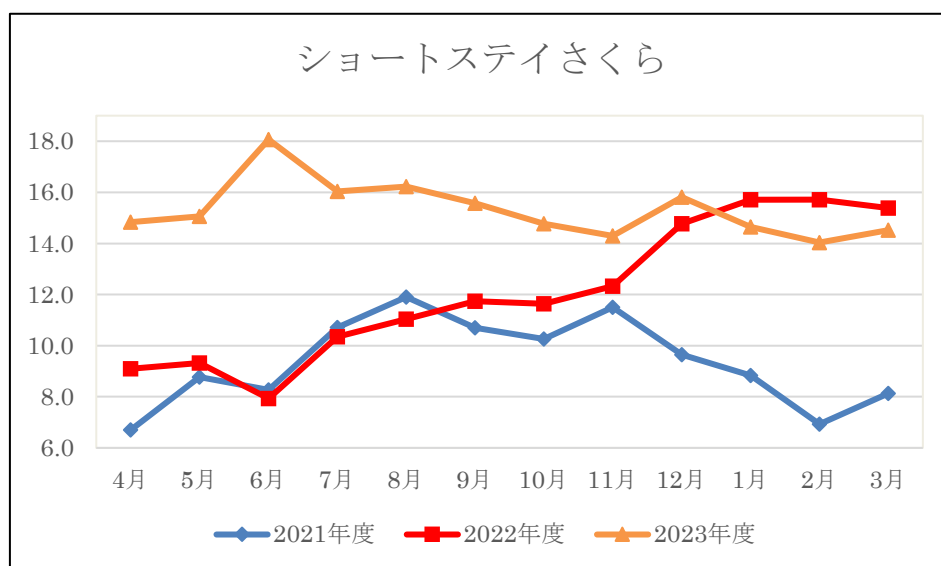
3. ショートステイさくら

(1) 事業の概要

2023 年度の利用者数は 1 日平均 15.3 人（前年度比 3.2 人増）と 9 年ぶりの高い稼働率となりました。コロナウイルス感染症も落ち着き始めた 2022 年 9 月以降、利用登録人数が増え始め、2023 年に入っても新規の利用者が増えました。

コロナが 5 類に移行し、利用者の外出機会を増やしたり、介護スタッフについては介護と直接関係しない清掃や洗濯などの業務負担を減らし、利用者 と直接かかわる時間を増やすよう心がけました。

また、2024 年 3 月からは利用者の就寝時の状態を把握できる見守りセンサー「眠りスキャン」（パラマウントベッド）を全面的に導入しました。これにより夜間就寝中の訪室を原則なくし、不要な訪問で安眠を妨げるということも防げるようになったと思います。導入にあたっては、利用者やご家族への丁寧な説明を心がけ、十分に理解いただいたうえで実施しています。



(2) 職員の状況 (3/31 現在)

生活相談員	介護職員	看護師	栄養士
1	8	1	1

4. ヘルパーステーションさくら

(1) 事業の概要

サービス内容は、高齢者向け訪問介護や障がい福祉サービスとなっています。利用者は、一般在宅の方やサービス付き高齢者向け住宅レジデンスケアアラさくらの入居者です。

(2) 職員の状況 (3/31 現在)

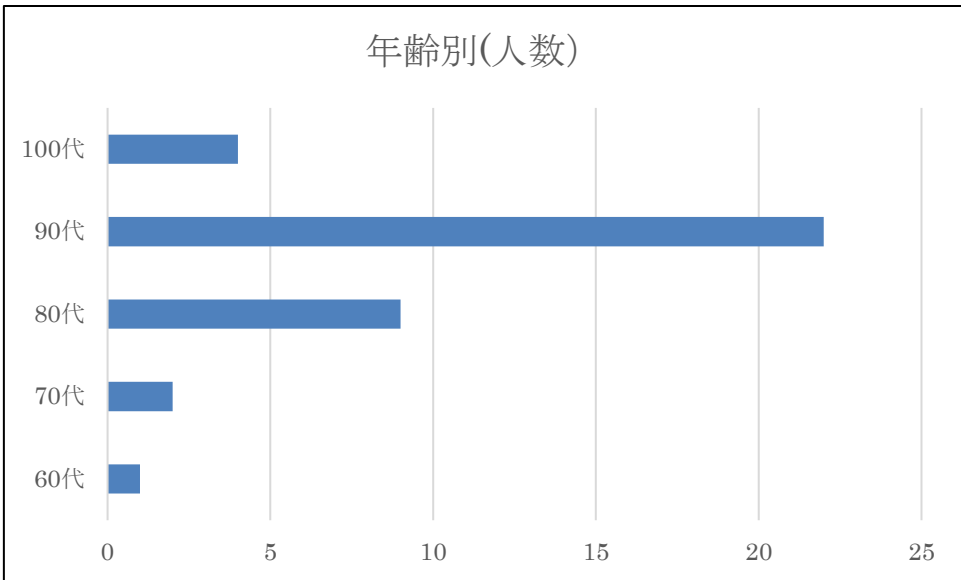
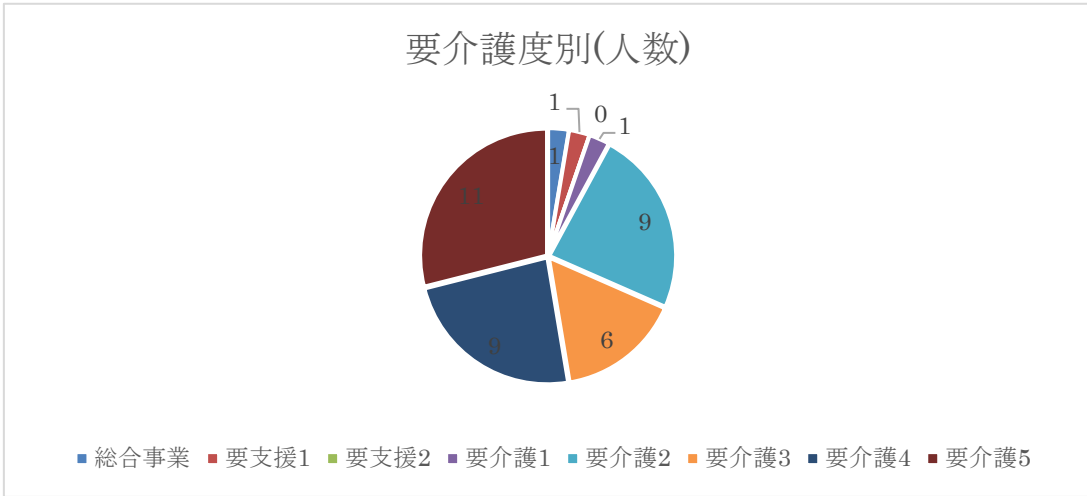
管理者 1名 介護職員 14名 登録ヘルパー10名 事務員1名

5. サービス付き高齢者向け住宅 レジデンスケアアラさくら

(1) 事業の概要

2023年度の平均入居率は約94%で前年度とほぼ同水準でした。同年度中の入居者は11人、退居者は17人でした。退去者のうちアラで亡くなられた方は10人、入院が3人、他施設転居が4人でした。

23年度末の入居者数は38人。平均年齢は91.3歳（男性88.5歳、女性92.4歳）で平均要介護度は2.78（前年度2.44）と介護度が徐々に進んでいます。年代別では、60歳代1人、70歳代2人、80歳代9人、90歳代22人、100歳代4人で、最高齢は103歳です。男女別の入居者は男性28.9%、女性71.1%となっています。



(2) 職員の状況 (3/31 現在)

相談員 1名 看護師 1名 事務員 2名 調理員 4名

(介護業務はヘルパーステーションの職員が兼務しています)

Ⅲ. 理事会・評議員会

1. 理事会

2023年3月25日

- | | |
|------|--|
| 報告事項 | 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 |
| 決議事項 | 1. 令和4年度補正予算案の件
2. 令和5年度事業計画案及び当初予算案の件
3. 銀行借入金の償還負担の件 |

5月8日

- | | |
|------|--|
| 決議事項 | 1. 収益事業の実施にかかる定款変更の件
2. 評議員会の議題・議案決定及びみなし決議の件 |
|------|--|

6月1日

- | | |
|------|---|
| 報告事項 | 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 |
| 決議事項 | 1. 令和4年度事業報告及び収支計算書、財産目録等承認、監事監査報告の件
2. 理事候補推薦、監事選任の件
3. 理事長選任の件
4. 評議員推薦名簿及び評議員選任・解任委員会招集の件
5. 収益事業の賃借料の件
6. 定時評議員会の招集日時、場所及び議案・議題の決定の件 |

6月24日

- | | |
|------|------------------------------|
| 報告事項 | 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 |
| 決議事項 | 1. 理事の互選の件
2. 業務執行理事の互選の件 |

10月26日

- | | |
|------|--------------------------|
| 決議事項 | 1. さくら総合医療株式会社との出向契約締結の件 |
|------|--------------------------|

10月31日

- | | |
|------|------------------------|
| 報告事項 | 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 |
| 決議事項 | 1. 定款変更の件 |

- 2.人事の件
- 3.評議員推薦名簿及び評議員選任・解任委員会招集の件
- 4.ダイルームの LED 照明工事及び空調機器更新の件
- 5.評議員会の議案・議題の決定及びみなし決議の件

2024 年 3 月 28 日

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 報告事項 | 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 |
| 決議事項 | 1.令和6年度事業計画案及び当初予算案の件
2.新規事業の件 |

2. 評議員会

2023 年 5 月 20 日 1. 収益事業にかかる定款変更の件

- 6 月 24 日
1. 令和 4 年度事業報告の内容及び収支計算書、財産目録等の承認の件
 2. 理事・監事選任の件
 3. 役員等報酬規程の件
 4. 社会福祉充実残額の件

2024 年 2 月 20 日

1. 老人デイサービス事業の廃止にかかる定款変更の件
2. 老人デイサービス事業の廃止及び不動産賃貸借による基本財産の変更の件